



キャリア支援室だより

つながり



Vol. 3 2010. 08. 31 発行 看護部キャリア支援室 (内線 7807)

『つながり』を創りだすキャリア支援室の役割

キャリア支援室が発足し2年目となり、今年度は3名の副看護師長とともに、部署支援のさらなる充実を図る役割の重みを実感しています。ところで『キャリア支援』とはどのようなことをさすのでしょうか。私は、北大病院に所属する看護職が、自身の能力や専門性を開発しめざす姿に近づくために、一人では解決できない悩みや道しるべが必要な時に、ともに考え必要な情報を提供し目標達成に結び付けられるよう支援することだと考えます。キャリア支援室の役割は、部署内で行われているキャリア相互支援を知り、部署内支援と組織全体による支援の『つながり』を創りだすことだと考えています。そのため、現場の皆さまの考えや意見を伺う機会が多くあると思いますので、よろしくお祈りします。また、いつでも気軽に支援室のドアをノックして下さい。お待ちしております。



(キャリア支援室 看護師長 中西千代美)

北海道大学病院新卒者合同研修 (8月6日)

卒後臨床研修センター・看護部キャリア支援室・薬剤部・診療支援部の合同企画で、「新卒医療者間のコミュニケーションを深め、他職種の理解と職種間連携の必要性を知る」ことを目的に、合同研修が行われました。(2回目は9月10日)。初の試みでしたが、副センター長の宮田先生の講義の後、グループワークと『仕事を楽しく、より良くするためには』のテーマで発表があり、短い時間でしたが笑い声も聞かれ和やかな雰囲気で行いました。「時間が短かった」「他職種で話し合うことで自分の現状を違った視点で見ることが出来た」「機会を重ねお互いの成長を確認しあいたい」など感想が聞かれ、他職種の方々を身近に感じる事が出来た研修になりました。

(講義とグループワーク)



看護技術フォロー研修の報告

8月上旬までに、2年目看護師も含め、延べ65名が参加しています。項目は、採血・注射・膀胱留置・輸液ポンプとシリンジポンプ・輸血などです。フィジカルアセスメントモデル「フィジコ」の活用や多重課題の演習などの研修も相談に応じて行きます。キャリア支援は、新人だけではなく2~3年目の技術修得への支援もしていますので、活用して下さい。

特集2: 3年目研修 (7月14日~16日)

キャリア支援室も3年目のキャリア支援の一環として、グループワークの助言で参加しました。KJ法により、3年目の課題を明らかにするグループワークを行い、活発な意見交換が行われ、皆さん積極的に参加していました。参加者2名は「同期と話す事で考えている事や悩みは同じで共感できた、自分達で解決策を見出す事が楽しく貴重な研修でした、」と話していました。『パワフル&ハツツに3年目としての役割を果たせる』、『広い視野を持ち、積極的に学びを深める3年生になる(自信を持てたらいいな...)』、このようなテーマから各自の課題の解決にむけて、また、11月末までに各自が事例研究に取り組みます

(課題についてのまとめと発表)



12-1 ナースステーション 多重課題演習 (7月29日)

12-1の2年目・3年目・4年目看護師が1名ずつ参加し多重課題演習を行いました。坂元副師長より、『多重業務や予期せぬ事が起きると頭が真っ白になり、周りが見えない』とスタッフの不安や焦りの言葉が聴かれたことがきっかけでした』とキャリア支援室に支援依頼がありました。坂元副師長が作成した科の特殊性をもたせたシナリオに沿って演習し、副師長を交えカフェリスを行いました。「患者の状態把握」「優先順位の重要性」などに気づき、よりよい対策の方法を考えることができ、また意見交換する中で、お互いの良い点や改善点を確認しあい、学びを深めていました。『患者さんの安全を考えて判断することが不足していたことを再確認できた』『患者さんの訴えや希望を確認することを大事にしたい』『自分の行動について話し合う機会がなかったので、新しい発見が出来た』など感想も聞かれました。坂元副師長からも、『今後も安全なケアの提供とスタッフの育成に向けて効果的な部署内研修を行って行きたいと思っています』とお話がありました。みなさん、これからも頑張ってください。

(演習の一場面とカフェリスを終えて)

